

関中央ロータリークラブ

国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ



2024～2025 年度 関中央ロータリークラブ 会長テーマ

「奉仕の実践を通じ、求められ、

必要とされるロータリアンに」

例会日：毎週木曜日 18時30分

例会場：関観光ホテル 岐阜県関市池尻 91-2

会長：大藪 太

副会長：土屋 敏幸

幹事：後藤 政之

会報：北原 慎

事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1-D

TEL (0575)24-7332 FAX(0575)23-5278

前例会の記録 第 2157 回

2024年10月24日(木)

卓話 尾崎 将之 会員

テーマ

『能登半島地震での初期医療対応の報告』

担当 会場監督

場所 例会場(関観光ホテル)

本日のプログラム 第 2158 回例会 2024年11月2日(土)

第 2158 回 東海北陸道グループ IM 担当：会長・幹事

場所：各務原市産業文化センター 受付：13時30分 / 開式点鐘 14時00分

*ロータリーソング「我等の生業」斉唱

*会長あいさつ 大藪 太 会長

皆さんこんばんは。今日は、尾崎会員の卓話です。尾崎さん、よろしくお願ひします。今週の月曜日、東海北陸道グループのゴルフコンペがありました。快晴に恵まれたゴルフ日和で前回の団体優勝に続き、今回も準優勝という輝かしい成績を収めることが出来ました。参加された7人の皆さん、大変お疲れ様でした。さて、私も含めてほとんどの方がスマホやパソコンをを毎日利用していると思います。近年、特に迷惑メールが増加しており、そ



の種類も多様化しています。個人情報や金銭を騙し取る悪質なものが多く、私たちの生活に大きな影響を与えています。そこでこの迷惑メールについて調べてみました。迷惑メールは、大きく分けて以下の種類に分類できます。

- フィッシングメール: 特定の企業やサービスを装い、個人情報(ID、パスワード、クレジットカード情報など)を騙し取ることを目的としたメールです。
- スパムメール: 不必要な広告や商品情報などを大量に送信するメールです。
- マルウェア付きメール: メールに悪意のあるプログラ

ム(マルウェア)を添付したり、リンクを仕掛けて、受信者のコンピューターを感染させようとするメールです。

- ・ 架空請求メール：未契約のサービスや商品代金などを請求する虚偽のメールです。
- ・ アダルトメール：性的な内容の画像や動画などを含むメールです。これらのメールは、巧妙な手口で作成されており、一見本物と見分けがつきにくい場合があります。

迷惑メールが増加する原因として挙げられるのは、

- ・ インターネットの普及：インターネットの普及により、誰でも簡単に大量のメールを送信できるようになったため、迷惑メールの拡散が容易になった。
- ・ 個人情報の流出：大規模な情報漏洩事件が相次いで発生しており、悪意のある者が不正に入手した個人情報を悪用して、より巧妙な迷惑メールを送信するようになった。

- ・ スパムボットの進化：迷惑メールを自動で大量に送信するプログラム(スパムボット)が高度化し、より効率的に迷惑メールを拡散できるようになりました。

迷惑メールによって、発生する可能性がある被害としては、

- ・ 個人情報の漏洩：フィッシングメールに騙されて個人情報を入力してしまうと、不正利用される恐れがあります。
- ・ 金銭的な損害：架空請求メールに騙されて、不正に料金を支払ってしまう可能性があります。
- ・ コンピューターの感染：マルウェア付きメールを開封したり、リンクをクリックしてしまうと、コンピューターが感染し、データが破損したり、個人情報が盗まれる可能性があります。
- ・ 精神的なストレス：不必要なメールが大量に届くことで、精神的なストレスを感じたり、仕事や生活に支障をきたす可能性があります。

迷惑メール対策として挙げられることは

- ・ 迷惑メールフィルターの設定：メールサービスの迷惑メールフィルターを有効にすることで、多くの迷惑メールを自動的に振り分けることができます。
- ・ 不審なメールを開かない：差出人が不明なメールや、件名が不自然なメールは、安易に開かないこと。
- ・ URL をクリックしない：メールに記載されている

URL は、フィッシングサイトに誘導される可能性があるため、安易にクリックしないこと。

- ・ 添付ファイルを開かない：メールに添付されているファイルは、ウイルスに感染している可能性があるため、安易に開かないこと。
- ・ パスワードの定期的な変更：パスワードを定期的に変更し、複雑なパスワードを設定することで、不正アクセスを防ぐ。
- ・ セキュリティソフトの導入：セキュリティソフトを導入し、常に最新の状態に保つことで、マルウェア感染を防ぐ。

迷惑メールは、私たちの生活に大きな脅威をもたらします。しかし、適切な対策を講じることで、被害を最小限に抑えることができます。対策を心掛けて安全なインターネット利用に繋がりたいものです。

* 会員卓話

尾崎 将之 会員
産業医科大学
救急・集中医療医学 教授
テーマ

『 能登半島地震での

初期医療対応の報告 』



会員の尾崎と申します。今日はこのようなお時間をいただきましてありがとうございます。現在愛知医科大学病院 救命救急センターで勤務しています。来月からは、出身校である福岡県北九州市の産業医科大学に異動します。

愛知医科大学病院の救命救急センターではヘリコプターを運用しています。とくに山岳地域から病院への救急車での搬送は時間を要するため、ヘリコプターを投入して搬送時間を短縮します。また現場に医療従事者を派遣するという役割もあります。救急医療の黎明期にはまずは救命を目標とする時期がありましたが、現在は命を救うだけでなく、脳や四肢の機能も維持されている状態に回復することを目指し、他の診療科の医師のほか看護師、理学療法士、栄養士といった多職種のスタッフとの連携をおこなっています。

1月の能登半島地震の時に災害医療チームとして参加をし、能登半島の現状を見て感じたことを紹介させてい

いただきます。

1月1日は当直勤務でした。1日16時すぎに揺れを感じ大きそうな地震だと思い、テレビをつけるとニュース



速報が流れており、地震の規模がある程度わかりました。その後すぐに、災害医療を担当するスタッフが病院に集まってきました。そして、どのような形で災害チームを派遣するか等、

話し合いが始まりました。行きたいから行くのでは現地

で混乱を招きます。災害時には県からの連絡を受けてから災害医療チームが赴きます。石川県から北陸、東海の県に要請がかけられました。愛知県内の病院は愛知県から各病院に指示があるので、命令系統に従います。愛知医科大学病院からはまず2日にドクターヘリが



決まりました。右側の写真は2日明け方の様子です。2日の段階では報道陣がまだ現地入りできない状況でしたので、被害状況が分かりませんでした。珠洲市や輪島市から被害を受けていない地域の病院に患者搬送を行って帰ってきたフライトドクターから、非常に深刻な現地の被害状況を聞くことが出来ました。数日後に私は陸路で現地に向かうことになりました。まず公立能登総合病院へ向かう指示が出されました。通常災害医療チームは医師、看護師、薬剤師、放射線技師 4~5名でドクターカーで被災地に向かいます。我々のチームでは交替でドクターカーを運転をしました。東海北陸自動車道は被害がなく無事に到着することが出来ました。公立能登総合病院に夕刻到着後、次は珠洲市総合病院に向かうように指示をされました。珠洲市到着までかなり時間がかかると想定されていたため、翌朝に出発することになりました。道路の被害が大きく、自衛隊車両の後ろをついて行くことが安全だと考え追走しながら向



かうことにしました。能登半島北部の被害が特に大きく、積雪に隠された道の亀裂に脱輪し、立ち往生している車もあり危険な状況でした。途中立ち寄ったコンビニエンスストアでは物が散乱しており、揺れがひどかったのだと感じました。このような状況でしたが無事珠洲市総合病院に到着しました。珠洲市立病院は耐震補強がしっかりされており建物は被害が少ない状態でした。停電もなく、検査機器はすべて稼働していました。一方で職員の方は被災のため出勤できない状況でしたので、職員が少ない中で入院患者の方たちがみえるという状況でした。私たち

は外来診療と入院患者の方のケアにあたりました。しかし災害医療チームの応援でも人手が不足しており、珠洲市立病院は病床規模を2分の1~3分の1に縮小することになりました。縮小するということは、珠洲市から他の地域の病院に患者さんを送ることになります。その際の搬送業務を集まった災害医療チームのドクターカーでおこないました。



珠洲市総合病院に集まった医療チームはリハビリ室にブルーシートを広げて雑魚寝をし、そこで寝泊りをする生活を数日間送りました。停電はなかったのですが、断水のためトイレを使用する時は貯めてある水をバケツで汲み、トイレのレバーを回しながら水を流して使しました。また、トイレ用防災グッズを使用するなどの方法でも対応しました。私のチームは1月8日～1月14日に看護師



2名、薬剤師1名の計4名で滞りました。それぞれ配属先に分かれて、医師は救急外来へ、看護師は病棟管理、薬剤師は薬局で勤務をしました。入院患者の方たちの搬送は、かなりの人出が必要となります。全国から集まった災害医療チームのドクターカーで近くの広場まで搬送し、そこから自衛隊のチヌークというローターが2枚付いている大型輸送ヘリコプターに患者さんを乗せ換えて石川県立病院や富山県内、愛知県内病院に搬送しました。

今回の経験を活かし今後の震災対応に貢献してまいりたいと考えています。ご清聴ありがとうございました。



*出席委員会

会員数30名、本日の出席20名です。

*ニコボックス委員会

・会長 副会長 幹事

尾崎会員、本日の卓話 どうぞよろしくお願い致します。

・喜久生 明男 会員

今週は 2つ 良いことがありました。

1) クリニックの30年ローンが終了。

2) 本日 松山市の家の処分を決めてきました。ホッとしています。

・川上 勉 会員

今日はよろしくお願ひします。

・吉田 和也 会員

先日は妻の誕生日に、美味しいお菓子をいただき ありがとうございます。

20名のご投函ありがとうございました。

<次例会の案内>

第 2159 回 11 月 10 日 (日)

午前8時30分～小雨決行

『 森林整備例会 』

担 当： 環境保全委員会

インターアクト委員会

場 所： 関市上迫間 大岩不動

ふどうの森 広場周辺